



問 人口減少下におけるスマートシュリンク（賢く縮む）の考えは

人口減少対策と賢く縮む「スマートシュリンク」は、車の両輪として進める必要があり、先進地が取り組む4S（集合・伸長・縮小・創造）の視点で痛みを伴う再編を進めるべきと考えるが、次期総合計画に位置付ける考えは。また、人口規模に依存せず、生活の質の向上を実感できる「新しい幸福なまちの姿」の実現に向けた市長の思いと覚悟、そして市民と対話し、理解を得ていく方法は。

答 痛みを伴う再編に向き合い、市民と対話を重ね、理解を得る

人口減少対策を続けながら、市民の生活の質を維持向上させつつ地域構造や公共サービスを最適化していく必要があると認識している。公共施設の統廃合やまちのコンパクト化といった痛みを伴う再編に向き合い、次期総合計画には限られた財源の中でやるべき事業を選択し、責任を持って展開していく考え方を位置付ける必要がある。津市で暮らす全ての人が豊かで充実した毎日を送れるよう、市民が熟考して結論を導き出す場を整え、不都合な情報も含めて行政側の考えを伝えながら対話をするというプロセスを積み上げ、理解を得ていく。

その他の質疑・質問

- 議案第131号 道の駅津かわげの指定管理者の指定について
 - 現在の指定管理者に対する評価は
 - 次期指定管理者に求める水準や選定について
- 自治体情報システムの標準化・共通化について
 - 進捗状況は
 - 標準化・共通化の課題等は

道の駅津かわげの指定管理者には今後も安定した魅力的な運営を期待する



問 津市の持続可能な財政運営について問う

津市において、将来、人口減少による税収の減少と社会保障関係経費の増加が財政を圧迫することが懸念される。そこで、人口減少が津市の財政にもたらす課題についての認識および将来を見据えた持続可能な財政運営の見通しについて問う。

答 将来の財政への影響も踏まえて予算編成に臨んでいる

第3期津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略において、津市の総人口は令和17年には約25万1,000人、令和27年には約23万6,000人になると推計しており、人口減少社会においては税収の大幅な伸びを期待することができず、依然として経常収支比率が高い傾向が続くものと見込んでいる。

持続可能な財政運営のためには、中長期的な視点で予算や事務事業を考える必要があるため、単年度だけでなく、後年度の負担分についても財源を明確にすることとしており、将来の財政への影響も踏まえて予算編成に臨んでいる。

その他の質疑・質問

- デジタル社会における幼児期の子育てについて
 - スマホ育児・ながらスマホ育児について
- 津市地域公共交通計画（案）について
 - 公共ライドシェアの位置付けについて
 - 国・県の公共ライドシェアの取り組みについて
 - 今後の津市の公共ライドシェアの取り組みは
- 久居総合福祉会館の老朽化対策について

交通空白地において自家用有償旅客運送を地域が直接行う事業に支援を行う仕組みづくりを

